

9/10
(木)

温かいご支援ありがとうございました
SOLA沖縄学園よりフェイスシールド寄贈



学校法人SOLA沖縄学園(野村美崎理事長)の関係者が市役所を訪れ、フェイスシールド1,200セットを寄贈しました。SOLA沖縄学園は、救急救命士などの医療系や美容師、ウエディングなど幅広い専門課程の学校で、来年には30周年の節目を迎えます。同学園の野村理事長は「今まで宜野湾市にはお世話になりましたので、感謝の気持ちを伝えたい、また、市に貢献したいとの思いから寄贈を行いました」と話しました。

9/28
(月)

温かいご支援ありがとうございました
次亜塩素酸水溶液「Zwater」の寄贈



沖縄北谷自然海塩株式会社(上地勲常務取締役)より、本市と市観光振興協会へ「北谷の塩」を原料に製造された次亜塩素酸水溶液「北谷のZwater」の寄贈がありました。「Zwater」は、厚生労働省(食品添加物)指定範囲で製造しているため、身近に安全に使用できる製品となっているとの事です。上地常務取締役は、「いろいろな方々の力をお借りして開発された製品です。少しでも沖縄のためになればと思います」と語りました。

10/1
(木)

地域での課題に取り組むため、福祉活動を支援
赤い羽根共同募金出発式



今年で74年目を迎え、全国一斉にスタートする「赤い羽根共同募金運動」の出発式が宜野湾市社会福祉協議会にて行われました。宜野湾市共同募金委員会のジョニー宜野湾会長は、「コロナ禍の中、“ふだんのくらしを、しあわせにくらせるために”福祉はあります。その福祉の財源である赤い羽根共同募金の目標額に向けて、福祉団体の皆さまの協力のもと、各種募金活動に取り組んでまいります」と決意を述べました。

10/8
(木)

株式会社アトムホームより
食料品とフェイスシールドの寄贈



株式会社アトムホーム(宮平克哉代表取締役)より、今回で4回目となるお米やポーク缶、卵の寄贈がありました。宮平宗幸専務取締役は、「地域に何か貢献したいとの代表の思いから、寄贈させていただいています。ポーク卵は私も子どもの頃から食べて元気をもらっているので、宜野湾市から元気が広がっていくよう頑張っていきましょう。」と話しました。また、同社からは、フェイスシールド400セットも寄贈いただきました。

10/16
(金)

2022年春開業を予定
株式会社プリンスホテル関係者来訪



本市西海岸地域にホテルの開業を予定している、株式会社プリンスホテル(小山正彦代表取締役社長)の関係者が、松川市長を訪ね、ホテル出店に向けての挨拶を行いました。ホテルは、地上14階、340室の全客室がオーシャンビューとなっています。小山代表取締役は、「宜野湾市でホテルをスタートできることを大変嬉しく思います。地元の皆さんのお役に立てるよう、宜野湾の魅力を発信していきたいと思います」と話しました。

10/19
(月)

嘉数小学校100周年・嘉数幼稚園50周年
期成会より記念碑を贈呈



昨年100周年を迎えた嘉数小学校へ同記念事業期成会より、嘉数小学校校歌の入った記念碑が贈呈されました。周年記念のロゴも記された記念碑は、同小学校のシンボルであるガジマルの木の前に設置されました。児童会長の仲波名柊凜さんは、「りっぱな記念碑が建ったことはとても嬉しいです。これからも、嘉数小学校のシンボルとして、みんなで大切にしていきたいです」と感謝しました。